

まきびと

2023年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人会

961-8061 福島県西白河郡西郷村 TEL 0248-25-2046
小田倉字上上野原 158番地1 FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の活動と事業計画をご支援ください。



2023年4月開設。地域社会を支える重要な社会資源として期待される 児童発達支援センター「はなわ」。



クリスマス礼拝。全員がマスクをつけての礼拝。天使さま役だけはマスクをはずして奉仕。

児童発達支援センターを開設。地域社会の福祉ニーズに応じて働く当会の2023年度事業活動をご支援ください。 理事長 山下 勝弘

クリスマスの挨拶と共に、当会の今年度の事業計画と活動を報告いたします。

当会は現在、主に知的障がいのある幼児から高齢者までを対象に15種別65事業の福祉支援活動を、福島県、山形県、宮城県3県内の11市町村で実施しています。

2023年度も、2022年度の事業活動結果を継承し、地域社会に貢献できる福祉サービス提供を可能にする以下の活動と事業計画を推進、実施しています。

1、求められる福祉支援サービスの確実な提供と充実

当会の相談支援サービス利用者を除く直接福祉サービス受益利用者数は、児童と成人合計で620名になります。

現在の新型コロナ、インフルエンザ、その他多様な感染症禍社会環境下で感染対策を最重視し、それぞれの福祉現場で利用者はじめ地域社会で求められている福祉支援サービス提供と充実を目標に、役職員全員が誠実に働きに参加しています。

2、地域社会の福祉的需要に応える社会福祉充実計画の実施

今年度は地域社会から強い要望のある「児童発達支援センター」を福島県東白川郡塙町に開設し、療育支援サービスを提供するとともに、地域の中核専門施設として機能しています。当会では、今後も地域に貢献する福祉活動の推進を社会福祉充実計画内容に位置付けて実施します。

3、キリスト教会と連携協力した人材育成活動の具体的推進

超高齢化社会を迎えている我が国では、福祉サービス領域に就労する人材の確保が緊急の課題になっています。特に障害福祉領域ではその状況が顕著で、福祉サービスの持続的維持、確保に深刻な影響を与えています。

当会では、この課題解決をキリスト教会との連携協力関係によって現実化することを願い、具体的な計画を策定し活動を開始します。キリスト教会関係者のご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

クリスマスを迎えるとき、当会の今年度活動と事業実施に、ご理解とご支援を、心からお願いいたします。

国内の感染症禍、国外の戦乱に心を痛める渦中で2023年のクリスマス、また2024年を迎える時、心からの感謝をこめて当会の活動の現状と事業計画の内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。

目標は福祉施設からグループ・ホーム、アパートへ

■ みんなの願い、自分らしく地域社会で暮らす生活 ■



ホームあだたら杉田。1棟6名の女性が居住し2棟で12名の女性が生活

当会は障害者入所支援施設3施設（利用者定員110名）、同通所施設4施設（利用者定員105名）、グループ・ホーム5ホーム（利用者定員38名）を運営しています。これらの福祉施設を利用している人たちの願いは、可能な限り自分らしく地域社会で暮らす生活を実現することです。

支援施設の暮らしは集団生活、グループ・ホームの暮らしは共同生活、アパートの生活は支援を受けながら自立して自分らしく地域社会で暮らす生活です。

当会の運営する就労支援施設「寒河江共労育成園」、同「あだち共労育成園」では社会生活に適應できる生活能力とともに、社会参加を可能にする就労能力の育成を支援しています。その結果、両園には地域社会で自立生活が可能な適性と能力とともに、木工加工、縫製、手芸作業等にも優



縫製作業。あだち共労育成園

れた技能を習得している利用者が活躍しています。「各種縫製製品」「地図パズル」「木製玩具」「各種積木」の製品などは、その成果で、その技能は「優れた職人レベル」です。今年度から、これらの利用者の地域社会生活の実現を積極的に支援する地域移行計画を開始しています。



積木の研磨作業。寒河江共労育成園

人権と尊厳を護る研修を強化

当会では職員が常に利用者の人権と尊厳の尊重を最優先にした支援サービスを提供するための研修を強化しています。特に職員の日常的な不用意な言動が利用者にとって心理的虐待になる事態を徹底的に排除する実践的研修を実施しています。同時にキリスト教主義を基本にした当会の倫理綱領の再確認を研修内容にして仕える姿勢の育成を強化しています。

2022年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額は4,586,869円で、これは個人会員と団体会員をあわせて481会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2022年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2022年度は特に、新型コロナ禍環境に対応して社会福祉法人牧人会関係福祉施設の設備更新整備、社会福祉充実計画に関連した「児童発達支援センター」整備事業を中心に支援をしました。2023年度も、引き続きみなさまのご理解、ご加藤と共に、いっそうの後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。（協賛広告）



児童発達支援センター 自由遊びの時間

地域社会を支える専門施設機能を提供期待される児童発達支援センター「はなわ」

当会の児童発達支援センター「はなわ」が2023年4月から事業を開始した福島県東白川郡内の幼稚園、こども園、保育園に在園する幼児総数は全体で930名です。これらの幼児の中で成長発達に特別な配慮を必要とする幼児の療育支援を提供するとともに、小中学生を対象にした放課後等デイサービス、相談支援事業も実施しています。

また12月には東白川郡地域で活動している福祉、教育、医療関係者を対象にした研修会を開催し、地域社会全体の療育支援環境の充実強化に協力します。

地域社会の社会資源として、これからの児童発達支援センター「はなわ」の存在と事業展開が期待されています。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で
当会の木工製産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも、常設展示されています。

木工製品は、各種「十字架」を始めとするキリスト教会用家具、用品、高品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児



用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。

詳細は当会のホームページをご参照ください。ぜひご用命、ご利用ください。

写真左上「十字架」。写真上 幼児用テーブル・椅子。各種保育園・幼稚園児用テーブル・椅子等の受注製作のほか、各種「木製積木」「木製玩具」「地図パズル」等も製作。当会のホームページ「製品案内」をご覧ください。

牧人会後援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動の目的と内容は、社会福祉法人牧人会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつし学園
Tel 0248-25-2055

あだたら育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共労育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共労育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共労育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

児童発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだたら
Tel 0243-22-2800

相談支援センターこひつし
Tel 0248-21-8648

児童発達支援センターはなわ
Tel 0247-57-9601